

ハンドスキンテクニック？

(手当法+皮膚氣康)

手当法には主に4つの手技が有る

- ① かざす ② 当てる ③ さする ④ ゆらす

手当法は、手当の言葉通り、最も原始的な治療法で有る。人間は無意識に痛い所に手を当てます。なぜでしょう。楽になるからです。安心するからです。医療の手当は、ここから来ていると言れています。また、氣（エネルギー）は、強く揉んだり押すと出ません。優しくかざす・当てる・さする・ゆらすと多く出ます。そう、お母さんが子供に痛い痛い飛んでいけの優しい言葉と、さする事で氣が出て安心するのです。もちろん痛みを和らげる効果が有ります。手当法はそれと全く同じです。



HST (ハンドスキンテクニック)

自然に出来てしまいました。もともと手当法は氣康の前から有りましたが、私が氣に目覚めてから使っている手技です。スキンドライブテクニックは、2022年の秋に完成し当院のテクニックとして使っています。本来手当法は、身体の筋肉や（筋膜を含む）関節、背骨等にフォーカスして行っていました。しかしスキンドライブが出来てから、皮膚の重要性と速効性に気づきいつしか指でだけではなく全身の手当に使うようになり、（相乗効果）ふと氣が付くと名前が無いのに気付きました。そこで、手当法とスキンドライブの融合にあった名前を考えました。手当は、**H**and 皮膚は、**S**kin 手技は、**T**echnique それぞれの頭文字をとってHSTとしました。

